

宮坂 良子

高齢者福祉の充実を、介護保険利用料の軽減、シルバー交番設置を

問

社会的に弱い人たちを守る市政が重要①介護保険利用料軽減を②高齢者の孤独死をなくし、相談・見守りのシルバー交番設置を③特養ホーム待機者は④第3特養定員の3倍も待機者がいる。増設が必要⑤高齢者宿泊施設の惨事が繰り返されてはならない、安全対策を。

答

①全体的な状況を勘案した上で検討。②今後検討。③平成25年1月現在、310名。④特養の建設だけでは根本的な解決は困難。⑤関係機関と連携して取り組む。

「絵手紙発祥の地」 粕江の取り組みと、さらなる充実・発展を

問

「ひろがれ絵手紙の輪」のイベントが大盛況だったが、①その取り組みについて②参加者の感想は③来場者は2000人を超えたが商業振興への貢献は④受賞者エコバッグの反響は⑤事務局を事業団に移すとのことだが、事業の後退や実行委員の不安のないように。

答

①44都道府県その他、海外を含め、6459枚の応募があった。②アンケートでは、とてもよかった等の回答多数。③粕江駅周辺で一定程度の効果があったと感じる。④当初作成分は完売、追加発注した。⑤事業団と連携して課題を解消する。

田中 智子

後期基本計画策定は計画段階からの市民参加を

問

①なぜ審議会へ諮問しなかったのか②重点プロジェクトと個別施策にしたことで体系的でなくなった。意図は③「私たちがつくる」とした市民主体から行政主導に。市民参加・協働の認識は④現状値の「二」はやめるべき⑤「めざす方向性」が矢印。目標を示すべき。

答

①前期計画の方向性をベースとしたため。②市民の方から一定の理解をいただき重点化を図った。③限られた市民による参加・協働が現状である。④現状値がない、個別計画等のもと推進する取り組みに表示。⑤単年度の施策目標は制度設計を進める。

都道117号線(田中橋)世田谷通り(開通に伴う問題について

問

①田中橋交差点の粕江三方方面に向かう市道に入るための時差式信号機の要望を②市道との交差点に押しボタンス式の信号機が設置されたが、事故も起こっている。信号機を利用するよう学校で徹底を。③バス路線拡充の音が高まった。

答

①関係機関に要望していきたい。②改めて交通安全に対する具体的な指導を実施するよう指導する。③地域公共交通会議に諮りたい。

岡村 しん

生活保護基準引き下げが与える影響について

問

①基準引き下げは、特に若い世代に大きな影響があるが、粕江市でも同じような傾向になるか。②生活保護受給者のカウニング費用を出すことはできないか。③就学援助を受ける基準について変わるのか。④粕江市として今後どのように対応していくのか。

答

①詳細な情報が国・都府県からなく、現状では不明。②現状の制度ではできない。③現状と同水準で対応が行われるものと推測する。④市民を守る立場で適切に対応する。

(仮称)ニトリ粕江ショッピングセンターについて その6

問

①事業地周辺の交通量調査と比較してどうか。②粕江市内において開発事業に伴い信号機の時間調整を行った例はあるのか。③調整会の結論として、西側道路に信号機がつかなければ規模縮小と言っていたが、市も同じ認識ということではないか。

答

①比較するとばらつきがある。②時間調整を行った例はない。③現状でできる最大限の対策を要望する見解に相違はない。

西村 あつ子

子どもの育ちを保障する保育環境を

問

①1歳児の待機児対策。②認可保育園の定員拡大は。③2園の民間委託の場所は。④委託の進め方。⑤市が考える委託への十分な期間の確保とは。⑥高橋市長になり市民参加が後退している。委託について市民福祉推進委員会に諮問すべき。

答

①認証保育所に対して定員増を要請。②公立の改修等で可能な範囲で実施。③現段階では決定していない。④子供への影響を配慮しながら丁寧に進める。⑤保育に影響のない十分な引継ぎ期間を確保。⑥民営化に当たっての配慮を聞くこともあると思う。

教育行政について

問

①35人以下の学級編成の教育長の考え。②体罰の現状は。③来年度の通級学級と特別支援教室に通う児童数。④特別支援教育の教育長の評価。⑤アレルギーのある児童への管理表の取り扱いと情報の共有化は。⑥給食調理の全校委託化の進め方は。

答

①都や国に要望をしてきた結果。②疑わしき事案4件。③101名、うち特別学級23名。④モデル事業の実施地区にふさわしい充実を図っている。⑤管理指導表をもとに学校と保護者の話し合いと職員会議

鈴木 えつお

新図書館の建設は中止でなく建設への見通しをたてるべき

問

①市民要望の強い新図書館建設の見通しを立てるべき。②水道局資材置場の都立公園化は事前に住民の理解を得る努力を。③4年間で市民運動場を整備するとの公約を守るべき。④水道道路の歩道幅を4年でやるという公約を守るべき。⑤脱原発首長会議に参加を。

答

①財政負担や優先度を考慮している。②市民の意見を聞いた上で都立公園化した。③公約は目標を掲げるものである。④信頼関係が回復したので、東京都の事業を支える立場である。⑤脱原発市長会議勉強会に参加した。

PM2.5による大気汚染対策の強化とぜん息患者への支援を

問

①中和泉の都測定局でのPM2.5の測定結果は。②市内のぜん息患者の推移は。③PM2.5の測定結果をわかりやすく公表を。④世田谷通り沿いへの測定局増設を都に要請を。⑤切実な要望であるぜん息患者の医療費公費負担の継続を都に要請を。

答

①平成23年度平均値は都内で2番目によい結果。②平成19年度が199件、平成24年度は12月末で696件と



等で共通理解。⑥平成26年度から段階的に委託化したい。

小野寺 克己

健康で幸せに暮らすための「健幸」づくりについて

問

①健康づくりや介護予防にもつながるマイレージ制度を参考に多くの市民が健幸づくりに取り組むことは可能か。②粕江市まなび講座や粕江市民まつりなどでスタンプリースタを取り組むことは検討できるか。③民生委員はいつ頃から欠員の状態が続いているのか。

答

①先進的な事例として検討していきたい。②関係各課と連携をとり、様々な視点から検討する。③平成19年4月1日時点の確認でも、2名が欠員。その後も欠員が出ている。

災害時における相互応援について

問

①孤立した16年から解放され、前市政では進展し

亀井 和美

元気に長生き 健康寿命について

問

①健康寿命を延ばすための取り組みは。②粕江市における健康づくりの計画は。

答

①「健康こまえ21」の位置づけは。②その計画が7年間、評価も見直しもされなかった理由。③CT検査車による肺がん検診の導入について。④胃がん検診にピロリ菌検査の導入を。

児童生徒の命を守る、食物アレルギー対策を

問

①保育園における食物アレルギーの状況。②保育

